

【合川小学校6年生による熱演 ヨサコイ 火の鳥】

第24回りんどう杯車いすバスケットボール九州大会の余興として、今回初めて、合川小学校の6年生によるヨサコイを披露していただいた。

大会2日目、決勝戦と3位決定戦のハーフタイム、体育館一杯に小学生約120名が広がり、「ヨサコイ 火の鳥」を踊った。体育館は、観客の手拍子と子供達の持つ鈴の音で一杯になり、ハーフタイム中の短い時間ではあったが、かなり盛り上がった。子供たちの熱い思いが伝わったのか、決勝戦後半は大接戦となり、りんどう杯車いすバスケットボール九州大会始めて以来の延長戦の末、佐賀県のHagakure Dangersが優勝した。

※第24回車いすバスケットボール大会については、会報誌にて、特集します。



【9月誕生者】

何気なく始めた例会ごとの誕生者紹介。

9月生まれは、クラブの中で一番多く、9名。この日、誕生者全員が例会に出席され、クラブからのお祝いと会長からのバラの花がプレゼントされたが・・・写真に写っているのは8名。事務局の手違いで、L. 内藤が誕生者から漏れてしまっていた。この場をお借りして、L. 内藤へ深くお詫び申し上げます。次回例会にて、10月の誕生者と一緒にお祝いさせていただきますので、何卒ご了承ください。



【早朝例会】

早朝例会が始まって何年になるだろうか。篠山神社のことが遠い昔のことものようにおもわれる。早朝例会神霊の木立ちの中での掃除ばかりが早朝例会ではない。六角堂も町の中の霊園のような気がする。



【卓話】

「車いすバスケットボールについて」
L. 堤秀敏

平成19年10月1日号
通巻第60号
PR委員会発行

車いすバスケットボール大会で審判も努める、
L. 堤の卓話は、違った角度から車いすバスケットボールを見たり聞いたりでき、興味のある卓話であった。我々は、彼とは何度となく一杯酌み交わした中であつたが、彼があれほど能弁であつたことをあの日初めて知った。車椅子の車輪の高さが何センチなど我々の目はどこについているのかと、恥ずかしいほどの不注意さであつた。細かいルールの中でのゲームだからこそ、車椅子バスケットボールの面白さが分かるような気がした。毎年大会の内容はレベルアップしている。この大会がこれからも長く続くことを主催者の我々は期待している。



【久留米雑談】

何というこの残暑だろうか。新聞などの長期予報では、この暑さは10月一杯まで続くと言っている。何とおぞましいことか・・・。

某新聞によると、デパートが暑さのためにではないが、改装すると地元紙が大々的に報じていた。気候が変わるとこんなウソみたいな話が誠しなやかに出てくるのが真夏の怪談となるところが面白い。

HP <http://www2.ktarn.or.jp/~rindolions/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kurumerindou/>